

小児科・消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	卵巢滑脱ヘルニアに対する手術成績の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	消化器外科学講座 助教 加藤翔子
研究の対象となる方	2015 年 1 月から 2025 年 12 月までに女児鼠径ヘルニアと診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2026 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 女児鼠径ヘルニアでは、卵巢、卵管、子宮が滑脱することが多く、その頻度やリスクについては十分な検討がなされていません。手術方法は、大きく鼠径部切開法と腹腔鏡下手術に分けられ、過去の手術の術式選択と手術時期について評価し、最適な治療法を模索します。 〔利用方法〕 診療データを元に、卵巢捻転や腸管嵌頓の有無および手術合併症などについて調べます。その結果から今後の患者さんへの治療方針を決定します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、手術時の月齢・体重、既往歴、手術時間、合併症等を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026 年 6 月 30 日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 消化器外科学講座 担当者：助教 加藤翔子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)